

インターン:

2008年5月から8月まで、約3ヶ月に渡りインターンとして活動に参加させていただきました。主な業務として、結核関連情報の調査、ワークショップの企画・運営、助成金獲得に向けた申請書の作成、ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟運営の補助などを担当しました。幸運なことに、インターン期間中に TICAD IV、北海道・洞爺湖 G8 サミット、市民サミット 2008(オルタナティブ・サミット)、国際結核シンポジウムといった国際会議が次々と開催され、こうした大きな舞台に NGO がもたらすインパクトを目の当たりにするという経験にも恵まれました。

今回のインターンシップには、「日本の NGO はどのような活動をアドボカシーとして行っているのだろうか」という問題関心を持って臨みましたが、数々の業務を通して、NGO のアドボカシーがいかに広範で多岐に渡るものであるかを実感することができました。インターンシップを通じて身近な 이슈 となった「結核」に、今後も注目していきたいと思います。

岡田 彩 (ピッツバーグ大学国際公共政策大学院博士課程)